

# 事業完了報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍の住宅困窮者支援事業 伴走支援付き住居・生活支援事業
資金分配団体名:	公益財団法人パブリックリソース財団
実行団体名:	特定非営利活動法人POPOLO
実施時期:	2021年11月～2022年2月
事業対象地域:	静岡県静岡市、静岡県焼津市
事業対象者:	ひとり親世帯、生活困窮者、一人暮らしが可能な障がい者

Version 3.2

日付: 20xx年xx月xx日

## I. 事業概要

事業実施概要	静岡県焼津市に支援つき賃貸住宅9部屋、静岡県静岡市に日常生活支援住居施設（無料低額宿泊所）として6部屋開設し、もともと静岡県内12市と広域実施している富士市にある一時生活支援事業の施設と連携させた、富士-静岡-焼津の隣り合う地域に、3種類の制度内、制度外の支援つき住居を用意する。これにより、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている住居喪失不安定就労者、ひとり親世帯、賃貸物件の契約が難しい方などあらゆる方の住まいに関わる相談に対応できるインフラを構築することが本事業の目的である。
--------	---

## II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>課題設定については、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、住居を失った方の相談が事業実施中にも多数寄せられたため、予想していた課題設定どおりの状況になっていることを実感した。本事業は、住居喪失者のための支援つき賃貸住宅および無料低額宿泊所の開設を行い、既存事業と連動させ、制度内、制度外の支援つき住居を用意するという内容であったが、2月末までの期限内に工事が完了することができなかったことで、結果的に新規入居者を入れることができなかったことは反省点としてあげられる（3月15日工事完了予定日）。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、視察予定だった2カ所が1カ所になったり、半導体の入荷の遅れにより給湯設備や警報機の入荷が遅れるなど、想定できない社会事情と関連した出来事に事後的に対応せざるを得なかった。</p> <p>次のアクションとしては、現状整備中の施設を利用したいと言っている、住居不安定者はすでに6世帯いるため、工事完了後にすみやかに入居できるよう、支援を行っていききたい。そして、本事業で静岡市、焼津市とも連携が深まったことを最大限に活かして入居希望者を増やしていきたい。</p>
-------------------	--

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
生活困窮者	その他	支援つき住居15部屋中5部屋以上の利用があり、利用者の安心した生活が送れる状況を援助する	①物件利用契約数 ②利用者評価	①5部屋 ②100点中80点以上	工事の遅れにより未達成。完了予定日3月25日。完成後6世帯入居予定	耐震工事の遅れにより、開設が遅れてしまったが、入居希望が6世帯現状あり、工事の遅れがなければ、目標達成ができたと考えている。
生活困窮者	その他	支援付住宅が新しく焼津市・静岡市で開設され、利用開始となる	開設	開設	工事の遅れにより未達成。完了予定日3月25日。無料低額宿泊所の届出は提出済	耐震工事の遅れにより、開設が遅れてしまったが、静岡市には無料低額宿泊所の届出は提出済のため書面上の開設は達成している。
生活困窮者	連携の不足	富士-静岡-焼津での連携のもと安定した運営ができる	開設	開設	工事の遅れにより未達成。完了予定日3月25日以降に運用開始	耐震工事の遅れにより、開設が遅れてしまったが、焼津市、静岡市の福祉課と協議を重ね連携関係は問題なく取れる状況
生活困窮者	その他	支援人員の研修により、充実したサポートの準備ができる	1件視察	1件視察	達成 NPO法人抱撲	北九州市のNPO法人抱撲に視察にいき、さんざん真名施設の整備状況、職員の相談対応について学ぶことができた。

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

事業実施以降に目標とする状況	静岡県焼津市-静岡市-富士市周辺地域の住居喪失不安定就労者、ひとり親世帯、高齢者、障がい者などの方で賃貸物件の契約が難しい方や生活・就労相談などの支援を受けながら生活したい方々を対象とし、15部屋中12部屋以上の利用を目標を掲げ、利用者の安心した生活が送れる状態を援助します。
考察等	耐震工事の遅れにより開設が遅れてしまったが、3月25日工事完了後は、入居希望が6世帯あり、行政との話し合いの中でも、施設の需要は高いという返事をもっていることから、事業実施後の早い段階で、15部屋中12部屋（残り6部屋の契約）は、2か月に1契約で計算したとしても、1年以内に達成が可能な状況だと判断しています。

## V. 活動

活動	進捗	概要
①物件の取得および耐震工事、内装等の室内整備の実施	遅延あり	耐震工事の遅れにより、開設が遅れてしまったが、入居希望が6世帯現状あり、工事の遅れがなければ、目標達成ができたと考えている。
②入居案内のパンフレット作製	遅延あり	耐震工事の遅れにより、写真撮影が遅れてしまった
③NPO法人抱撲へ実際の支援現場を学ぶための視察を行う	計画通り	新型コロナウイルス感染拡大が長期化しているため、受け入れが難しい団体もあり、変更を余儀なくされたが、変更後は予定通り行うことができた。
④周辺自治体への事業実施の広報	ほぼ計画通り	広報ツールや耐震工事が遅れたため若干の遅れはあったが、自治体への説明をパンフレットが完成する前に、独自で説明資料を作成し事業の広報を実施することができた
⑤入居開始 生活支援および見守り付き住宅提供	遅延あり	耐震工事の遅れにより、開設が遅れてしまったが、現在6世帯が入居を希望している状況

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>波及効果として、広報をした自治体以外からも問い合わせがあった（静岡県磐田市、裾野市、富士市）。</p> <p>また、静岡市は無料低額宿泊所の条例は作っていたが、要綱を作成していなかったことから、新規に作成をしていただき本事業が実施事例となった。</p> <p>耐震工事自体は遅れてしまったが、当初は2階より上の部分を購入する予定だったが、1階部分も値段を変えずに、購入できたため、将来的には子ども食堂の実施なども検討できるような状況になった。</p>
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、住居を失う方はより一層増えてきた。</p> <p>派遣労働者が寮付きの仕事に就くことができなくなった、高齢者がパートなどでの収入が減ったなど影響は大きい。</p> <p>経済はコロナの収束と同時に回復するものではなく、長期的な視点でゆっくりと回復に向かうことが一般的であることから、今後も様々な方が住居を経済的な理由や失業で失う可能性はどんな状況の方でもあり得るため、本事業の周知を県内に拡大して行っていくことは大事だと考えている。</p>
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
焼津市 福祉課	支援付き住宅の実施に向けた、事業周知を依頼。1件生活保護申請をした女性の入居の仲介を実施してくれた。
静岡市 福祉総務課	無料低額宿泊所の要綱作成 事業周知を依頼し、静岡市で初めての無料低額宿泊所として届け出を提出することができた。
焼津市社会福祉協議会	支援付き住居の対象者への情報提供
静岡県社会福祉協議会	支援付き住居の対象者への情報提供
ふじのくにコンシェルジュ	支援付き住居の対象者への情報提供

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	98,045,000	98,124,452	100.1%
	管理的経費	0	0	0.0%
合計		98,045,000	98,124,452	100.1%
補足説明		変更申請などの必要はあったが、結果として変更後の計画に近い数字で完了できた。		

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	なし
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	パンフレット作製 8ページ 両面カラー 1000部
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	購入施設にシンボルマークを貼る予定（耐震工事の遅れによりまだできていません）
4.報告書等	今年度のNPO法人POPOL0年次報告書に記載予定

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	WEBに疎く、ボランティアに行ってもらおう予定です。今月中に行う予定です
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	

②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3. 関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4. コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	はい	
5. ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	理事会において、ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策の検討を行いました。 会計上の支出伺いの流れに課題が判明したため、修正をすることになりました。
6. 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	事業年度終了後に法人内監事による会計監査を実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7. 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部に匿名で投函できる意見箱の設置をしました。 意見箱の鍵は理事長と事務局長のみが所持しています。 相談窓口も理事長および事務局長が対応しています。

XII. その他

自由記述
<p>休眠預金事業を通じて、書類の整備が進みました。 今回の休眠預金事業は、静岡市内初の事例を作ったという側面もあります。静岡市には無料低額宿泊所がありませんでした。本事業を事例として横展開に期待しています。</p>